

動物用ワクチン-バイオ医薬品研究会 総会・シンポジウム プログラム

日時: 平成 28 年 9 月 8 日(木)13 時 00 分～17 時 30 分

場所: 第 159 回日本獣医学会学術集会 第 7 会場

13:00～13:20 総会

(10 分 間 休 憩)

13:30～17:30 シンポジウム「牛の新規ワクチン戦略および生体センシング研究の最前線」

13:30～16:10 I. 動物ワクチンプロの主要研究成果 ～座長:国保 健浩 (国立研究開発法人農研機構 動物衛生研究部門)～

(13:30～13:40) 1. 「動物ワクチンプロの紹介」

国保 健浩(国立研究開発法人農研機構 動物衛生研究部門)

(13:40～14:15) 2. 「リボソーム型点眼ワクチン/経乳頭ワクチン～家畜(牛)における免疫誘導～」

渡来 仁(大阪府立大学)

(14:15～14:50) 3. 「乳房炎ワクチンへの希望と期待」

林 智人(国立研究開発法人農研機構 動物衛生研究部門)

(14:50～15:25) 4. 「経鼻ワクチン開発の最前線～粘膜組織での効果的な IgA 産生を可能にするナノゲルの威力～」

野地 智法(東北大学)

15:25～15:35

(10 分 間 休 憩)

(15:35～16:10) 5. 「牛ウイルス性下痢・粘膜病に対する DNA ワクチンの開発」

村上 賢二(岩手大学)

16:10～17:30

II. SIP 内閣府戦略的イノベーション創造プロの主要研究成果 ～座長: 新井 鐘蔵 (国立研究開発法人農研機構 動物衛生研究部門)～

(16:10～16:15) 1. 「SIP 生体センシングプロの紹介」

新井 鐘蔵(国立研究開発法人農研機構 動物衛生研究部門)

(16:15～16:40) 2. 「次世代精密牛個体管理システムのためのウェアラブルセンサの開発」

張 毅(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

(16:40～17:05) 3. 「乳牛における体表温センサによる分娩予知および腔内センサによる排卵予知」

古山 敬祐(北海道立総合研究機構根釧農業試験場)

(17:05～17:30) 4. 「無線式 pH 線センサによる牛の亜急性第一胃アシドーシスの摘発と制御」

佐藤 繁(岩手大学)

※それぞれの講演に 5 分間の質疑応答を含みます。